

令和5年度
関東農政局管内国営事業総合技術支援業務
(荒川中部地区武蔵野用水路抜粋)

報 告 書

令和6年3月



まえがき

- (1) 事業名： 令和5年度 関東農政局管内国営事業総合技術支援業務
- (2) 事業期間：令和5年7月14日から令和6年3月22日まで
- (3) 事業目的： 本業務は、関東農政局管内の国営事業地区が抱えている設計・施工等の課題に対し、学識経験者及び外部技術者の視点や技術力等を活用しながら、即応的、機動的に課題の解決を図り、事業の適切かつ円滑な推進に寄与するとともに、農政局技術者の一層の技術力向上に資することを目的とする。
- (4) 業務内容：
1. 学識経験者及び学識経験者にて構成される第三者委員会による検討（鬼怒川中部地区）
 - (1) 現地調査
 - (2) 施工計画の検討に係る課題と留意点の整理
 - (3) 第1回（現地調査）委員会設置・運営・とりまとめ
 - (4) 第2回委員会の設置・運営・とりまとめ
 - (5) 施工時の留意点の整理
 2. 関東農政局管内国営地区における外部技術者活用による技術支援（荒川中部地区武蔵野用水路）
 - (1) 外部技術者の選定
 - (2) 設計業務打合せにおける指導・助言・検討結果の整理
 3. 点検とりまとめ
- (5) 成果物：
- | | |
|--------------------|------|
| ①報告書（市販チューブファイル製本） | 3部 |
| ②報告書の電子媒体（CD-R） | 正副2部 |
| ③不開示の電子媒体 | 1部 |
- (6) 発注者： 農林水産省関東農政局土地改良技術事務所
- | | |
|-------|-------|
| 総括監督員 | 井上 裕 |
| 主任監督員 | 竹内 光人 |
| 監督員 | 辻 伊一郎 |
| 監督員 | 櫻井 佑 |

(7) 受注者：

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

目 次

第1章

1 業務目的及び概要	1
------------------	---

第2章

2 学識経験者及び外部技術者の選定	4
-------------------------	---

第3章 対象課題（2項目）

3.1 鬼怒川中部地区佐貫頭首工改修に係る施工計画及び仮設計画について

3.1.1 業務対象地区及び検討対象施設の概要	
3.1.2 現地調査	
3.1.3 施工計画等の検討に係る課題と留意点の整理	
3.1.4 設計業務打合せにおける指導・助言・検討結果の整理	
3.1.4.1 設計業務打合せの開催状況	
3.1.4.2 第1回 委員会	
3.1.4.2.1 議事録	
3.1.4.2.2 検討結果の整理	
3.1.4.2.3 委員会資料	
3.1.4.3 第2回 委員会	
3.1.4.3.1 議事録	
3.1.4.3.2 検討結果の整理	
3.1.4.2.3 委員会資料	
3.1.5 施工上の留意点の整理	

3.2 荒川中部地区武蔵野用水路に係る施工計画及び仮設計画について

3.2.1 業務対象地区及び検討対象施設の概要	9
3.2.2 施工計画等の検討に係る課題と留意点の整理	10
3.2.3 設計業務打合せにおける指導・助言・検討結果の整理	11

3.2.3.1	現地調査・設計業務打合せ	11
3.2.3.2	開催状況	14
3.2.3.2.1	議事録	18
3.2.3.2.2	検討結果の整理	24
3.2.3.2.3	打合せ資料	25

添付資料

業務計画書

業務打合せ記録簿

分冊 1 (0～頁)

分冊 2 (頁～頁)

第1章 業務目的及び概要

1.1 本業務の目的

本業務は、関東農政局管内の国営事業地区が抱えている設計・施工等に課題に対し、学識経験者及び外部技術者の視点や技術力等を活用しながら、即応的、機動的に課題の解決を図り、事業の適切かつ円滑な推進に寄与するとともに、農政局技術者の一層の技術力向上に資することを目的とする。

1.2 業務の対象地域

本業務の対象地区は、国営土地改良事業地区調査 鬼怒川中部地区、国営かんがい排水事荒川中部地区である。

1.3 業務内容

表1.1.1 業務内容一覧

作業項目	作業内容	数量
1. 学識経験者及び外部技術者にて構成される第三者委員会による検討(鬼怒川中部地区)	佐貫頭首工における、施設の重要度、施設の耐震性、耐震対策工法、施工計画、仮設計画に関する検討を行う。	
(1) 現地調査	業務遂行に必要な現地調査を行う。	1 式
(2) 施設計画の検討に係る課題と留意点の整理	佐貫頭首工の改修に関し、以下のことを考慮して施設計画に係る課題と留意点を整理する。 ・佐貫頭首工は、重要度区分AAに位置付けられているが、過去の耐震照査の結果、大規模地震（レベル2地震動）に対する安全性が確保されていないことが明らかになっており、取水工及び管理棟についても、整備（耐震化対策）の可能性も含め最適な施設整備計画を検討する必要がある。	1 式
(3) 第1回（現地調査）委員会の設置・運営・とりまとめ	①学識経験者1名と外部技術者2名から構成される検討委員及び局・事業所による第1回（現地調査）委員会の準備・開催・運営を行う。 ②第1回（現地調査）委員会の学識経験者、外部技術者は受注者が提案する候補者を基に発注者と協議の上決定する。 ③第1回（現地調査）委員会は、1日／回の開催を計画	1 式

	する。 ④議事内容及び日程について、発注者及び関係事業所と調整の上、必要に応じ、会場確保等を行う。 ⑤第1回（現地調査）委員会資料の準備、議事録作成、検討結果の整理を行う。	
（４）第２回委員会の設置・運営・とりまとめ	①第1回（現地調査）委員会検討結果について、総合的な検討・評価を行うため、検討委員及び局・事業所による第2回委員会（さいたま市内）の準備・開催・運営（半日／回程度）を行う。 ②議事内容及び日程について、発注者及び関係事業所等との調整の上、必要に応じ、会場確保等を行う。 ③第1回（現場調査）委員会における課題や検討内容についてとりまとめ、第2回委員会資料を作成する。 ④第2回委員会検討結果について、議事要旨及び議事録の作成、検討結果の整理を行う。	1 式
2. 関東農政局管内国営地区における外部技術者活用による技術支援（荒川中部地区 武蔵野用水路）	現地調査及び事業所打合せに参加し技術的な助言・指導を行うとともに検討結果を整理する。	
（１）外部技術者の選定	地区の検討内容を把握した上で、対象となる工事に知見を有する外部技術者を2名選定する。 なお、外部技術者は受注者が提案する候補者を基に発注者と協議の上決定する。	1 式
（２）設計業務打合せにおける指導・助言・検討結果の整理	外部技術者（2名）は、現地調査及び事業所発注業務の打合せに出席し、設計業務受注者から提案された施工計画及び仮設計画（案）に対して指導・助言を行うとともに検討結果を整理する。 交通量の多い県道下を横断するφ600の推進工及び歩道下に埋設するφ400の菅水路工について下記の点を考慮して、推進工法の選定、施工計画、仮設計画について助言・指導を行う。 ・民家が隣接し、上下水道管等が多く埋設されている狭小な市道下を、推進するため立坑や施工ヤード、工法等に制限がある。 ・礫径が大きく、礫含有率が高い洪積砂礫層を約100m確実に推進する必要がある。 ・φ250既設石綿管があるため、その撤去、充填等も必要となる。	1 式

5. 点検・とりまとめ	各作業における成果物について点検・とりまとめを行い、業務 報告書を作成する。	1 式
-------------	--	-----

1.4 業務の工期

本業務の工期は以下のとおりである。

令和5年7月14日～令和6年3月22日

1.5 業務の契約金額

本業務の契約金額は10,615,000円（税込み）である。

1.6 業務の成果物

成果物として以下のものを提出する。

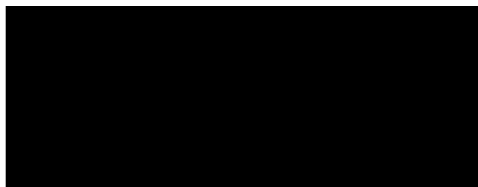
- (1) 成果物の電子媒体（CD-R等） 正副2部

この他、この成果物に含まれる「行政機関の保有する情報公開に関する法律」に基づく「不開示情報」に該当する情報について、その箇所を黒塗りにする措置を行い、電子媒体（CD-R等）により別途1部提出するものとする。

- (2) 成果物の出力は下記のとおり。 2部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じ）

- 1) 学識経験者及び外部技術者にて構成される第三者委員会による検討（鬼怒川中部地区）に係る内容
8部（簡易製本）
- 2) 関東農政局管内国営地区における外部技術者活用による技術支援に係る内容
2部（市販チューブファイル）

1.7 実施体制



第 2 章

学識経験者及び外部技術者の選定

第2章 学識経験者及び外部技術者の選定

学識経験者の選定では、多数の委員会での経験を考慮して東京大学大学院 教授 高木強治氏を委員長とした。

外部技術者は、各検討対象施設の課題等を踏まえ、専門的な知識と現場施工に対しての豊富な経験を有する建設会社に所属する技術者から選定した。

外部技術者選定要件

(1) 鬼怒川中部地区 佐貫頭首工

○建設会社における頭首工等の整備・改修の施工実績、経験を踏まえ、的確に検討できる技術者を選定。

(2) 荒川中部地区武蔵野用水路

○建設会社における管水路の推進工法等の経験・実績を踏まえ、的確な検討ができる技術者を選定。

表2-1 学識経験者及び外部技術者の選定

地区名等	外部技術者		専門分野	推薦理由	経歴・備考
	会社名・所属	氏名			
鬼怒川中部地区 佐貫頭首工	東京大学 大学院 農学生命科学研究科 教授	高木 強治	水環境工学	委員長は、多数の委員会での経験を考慮して決定した。	
	清水建設（株） 土木営業本部 英刑部 営業課長	宮越 優	施工計画	大規模頭首工・堰の施工実績を有する建設会社の技術者とした。	
	西松建設（株） 関東土木支社 百合丘工事事務所 次長	永津 学	施工計画	大規模頭首工・堰の施工実績を有する建設会社の技術者とした。	
荒川中部地区 武蔵野用水路	戸田建設（株） 土木技術統轄部 統轄部長	大木 洋平	施工計画	推進工事（小口径含む）の施工実績を有する建設会社の技術者を候補とした。	
	（株）大本組 土木本部総合技術 部 部長	工藤 和重	施工計画	推進工事（小口径含む）の施工実績を有する建設会社の技術者を候補とした。	

第3章 対象課題（2項目）

3.1 鬼怒川中部地区佐貫頭首工改修に係る施工計画及び仮設計画について

- 3.1.1 業務対象地区及び検討対象施設の概要
- 3.1.2 現地調査
- 3.1.3 施工計画等の検討に係る課題と留意点の整理
- 3.1.4 鬼怒川中部地区佐貫頭首工にかかる国営総合農地防災事業第三者委員会
 - 3.1.4.1 委員会の開催状況
 - 3.1.4.2 第1回（現場調査）委員会
 - 3.1.4.2.1 議事録
 - 3.1.4.2.2 検討結果の整理
 - 3.1.4.2.3 第1回委員会資料
 - 3.1.4.3 第2回委員会
 - 3.1.4.3.1 議事録
 - 3.1.4.3.2 検討結果の整理
 - 3.1.4.3.3 第2回委員会資料
- 3.1.5 施工上の留意点の整理

3.2 荒川中部地区武蔵野用水路更新に係る施工計画及び仮設計画について

- 3.2.1 業務対象地区及び検討対象施設の概要
- 3.2.2 施工計画等の検討に係る課題と留意点の整理
- 3.2.3 設計業務打合せにおける指導・助言・検討結果の整理
 - 3.2.3.1 現地調査・設計業務打合せ
 - 3.2.3.2 開催状況
 - 3.2.3.2.1 設計業務打合せ議事録
 - 3.2.3.2.2 検討結果の整理
 - 3.2.3.2.3 打合せ資料